

給排水管調査診断とは

- 給排水管の改修工事は従来長期修繕計画の中で、更新(取替)を想定して考えられてきましたが、昨今の技術開発により、更生(ライニング等)による配管の延命処置が図られるようになりました。
- 給排水管の耐久年数は管材により、15年～35年と言われております。(コンクリート建物は60年)
- 築13年以降の給排水管の調査診断(内視鏡・管切取等)を行い、調査結果により、改修方法(更新・更生・更新+更生)をご提案し、配管の維持保全をお勧めします。

内視鏡(ファイバースコープ)調査



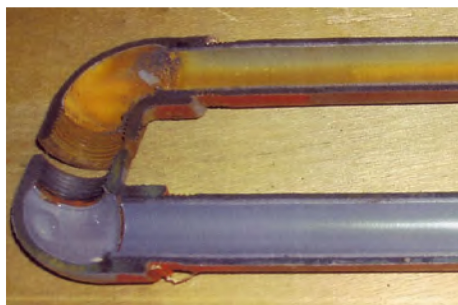
*内視鏡カメラにて管内調査



配管切取(サンプリング)調査



*切取管を半割にし、片方を洗浄し、配管内部の腐食状況を確認する。



排水管診断結果

*腐食による厚みを測定し、改修方法のご提案致します。

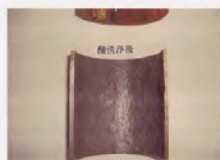
NO 1

白ガス管80A

サビ状況

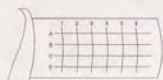


酸洗浄後



調査結果一覧

内厚測定記録用紙(No.1)



測定箇所(内径) (1.0 径 0.0 寸)

測定箇所	測定値 (mm)
A-1	2.70
A-2	2.70
A-3	2.70
A-4	2.70
A-5	2.70
A-6	2.70
A-7	2.70
A-8	2.70
A-9	2.70
A-10	2.70
A-11	2.70
A-12	2.70
A-13	2.70
A-14	2.70
A-15	2.70
A-16	2.70
A-17	2.70
A-18	2.70
A-19	2.70
A-20	2.70

測定厚み 2.24 mm 調査厚み 2.10 mm

調査結果一覧表 (No.1)

調査項目	結果
調査方法(点検)	24 点
調査口径	80 A
調査口径公差	±1.1 mm
調査口径公差	±2.24 mm
調査口径公差	±1.1 mm
調査口径公差	±2.24 mm
調査口径公差	±1.1 mm
調査口径公差	±2.24 mm
調査口径公差	±1.1 mm
調査口径公差	±2.24 mm
調査口径公差	±1.1 mm
調査口径公差	±2.24 mm

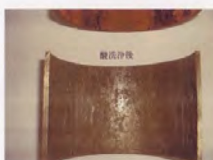
NO 2

白ガス管125A

サビ状況

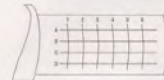


酸洗浄後



調査結果一覧

内厚測定記録用紙(No.2)



測定箇所(内径) (1.2 径 0.0 寸)

測定箇所	測定値 (mm)
A-1	2.70
A-2	2.70
A-3	2.70
A-4	2.70
A-5	2.70
A-6	2.70
A-7	2.70
A-8	2.70
A-9	2.70
A-10	2.70
A-11	2.70
A-12	2.70
A-13	2.70
A-14	2.70
A-15	2.70
A-16	2.70
A-17	2.70
A-18	2.70
A-19	2.70
A-20	2.70

測定厚み 2.15 mm 調査厚み 2.07 mm

調査結果一覧表 (No.2)

調査項目	結果
調査方法(点検)	24 点
調査口径	125 A
調査口径公差	±2.24 mm
調査口径公差	±1.1 mm
調査口径公差	±2.24 mm
調査口径公差	±1.1 mm
調査口径公差	±2.24 mm
調査口径公差	±1.1 mm
調査口径公差	±2.24 mm
調査口径公差	±1.1 mm
調査口径公差	±2.24 mm